

春の里より



「食の大切さ」を 感じるようになりました 榎尾 守さん(70歳)

4年前、義父が離農したことで耕作放棄地となっていた農地を、家内と半年かけて草を刈り整地しました。担い手育成センターで短期研修を受け農機の操作や栽培などを春野の友人・知人の農家から教わりながら農業を始めました。現在は少量多品目で10種類以上の野菜を春の里などに出荷しています。生産する側になって初めて、食べ物を作る人が居るから自分たちは生きていけると

いう「食の大切さ」を感じるようになりました。
趣味は旅行で、旅先で会う方々に地元のおいしい飲食店や野菜を聞いてそれを食べるに行くことを楽しんでいます。

元気いっぱいです!

右から 田村 海翔さん(5歳)
松崎 帆乃帆さん(5歳)
吉満 優さん(4歳)

春野仁西保育園に通うお友だちの3人。卒業したお兄さん・お姉さんも遊びに来てくれて、毎日仲良く元気いっぱいに過ごしています! みんなでダンゴムシやバッタ、金魚やドジョウのお世話を頑張っています。春にはJAに野菜の苗を買いに行き、自分で選んだ苗にお水をあげたり、草を引いたりして育てました。

仁ノ里より



いろいろなものを作るのが好き。かわいいお母さんになりたい!

お歌やお絵かきが好き。やりたいこといっぱい!

生き物とプール遊びが好き。将来の夢は警察官!

オクラや枝豆・トマト・スイカ・トウモロコシ・ズッキーニ…大きくなった野菜はお家や給食で食べて楽しみました。最近流行っているのは「キャンプごっこ」! テントに入ってみんなで遊んでいます。

高知 地区から こんにちは

とさのさとより



高知の肉は「とさのさと」で!

とさのさと 精肉売り場
右から 副店長：橋本 諭さん(35歳)
西内 盛男さん(51歳)
槇 晋平さん(27歳)
岡崎 洋介さん(46歳)

今年4月に売り場をリニューアルし、対面販売を始めました! 取り扱っている精肉は全て「高知県食肉センター」から1頭買いで仕入れた高知県産。土佐和牛・米豚・はちきん地鶏・四万十鶏のあらゆる部位を取り揃えています。おすすめはブロック肉。多人数で切り分けながら楽しめるぜいたくさを味わってほしいです。ほかにも、牛・豚・鶏が全部楽しめるセットも販売しているので、直販所で野菜も買っていただくとバーベキューの食材一式が揃います。「高知の肉を食べたいと思ったら『とさのさと』」と一番先に思い浮かぶような売り場にしていきたいと思っています! ぜひお越しください。

芳原より



感謝が何よりのやりがいです

高知市南消防署 特別救助第3係
瀧田 光成さん(34歳)

中学生の時に職場体験で訓練に参加し、カッコいいと憧れ消防士になりました。今年で15年目になります。昨年4月に現在の職場に異動してきました。交通事故やガス漏れ、災害時のロープレスキューが必要な場面などに、救助に関わる通報事案に対応し救助隊として出動しています。119番通報は困っている方々からの連絡です。事案の種類・規模に関わらず、解決したときに「ありがとう」と感謝されることが何よりのやりがいです。

高知市消防局の野球部に所属しています。今年5月の「官公庁野球大会高知県大会」で優勝し、全国大会にも出場しました。来年も優勝目指して、練習頑張ります!

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



ロールプレイングする学生ら

1 本部 働くイメージ持って 1 Day 仕事体験

J A 高知県は8月16日、オープン・カンパニー(1 Day 仕事体験)をJ A 高知ビルで開きました。参加者はJ A の概要・仕事内容について説明を受け、支所・直販所・経済センターの見学や先輩職員との交流会などを行いました。また、今回初めて「信用・共済事業の業務体験」としてロールプレイングを導入し、J A で働くイメージを持つてもらおうことにつなげます。

県内外から大学3年生9人が参加。ロールプレイングでは、職員は初めに手本を見せながら「組合員に寄り添った質問を意識して」と呼び掛けました。自分の考え方を押し付けず、問い掛けすることで組合員の考えを引き出すことの重要性を伝えました。参加した学生は「組合員との対話を大切にしていることが分かった」「大学ではできないことが分かった」「大学ではできない、仕事をすることができる貴重な経験ができた」と話しました。

県内外から大学3年生9人が参加。ロールプレイングでは、職員は初めに手本を見せながら「組合員に寄り添った質問を意識して」と呼び掛けました。自分の考え方を押し付けず、問い掛けすることで組合員の考えを引き出すことの重要性を伝えました。参加した学生は「組合員との対話を大切にしていることが分かった」「大学ではできないことが分かった」「大学ではできない、仕事をすることができる貴重な経験ができた」と話しました。



集出荷場について説明する吉本次長(写真⑥)

2 高知地区 春野営農経済センター 家庭科教員に出前授業

春野営農経済センターは8月21日、高知市の小中学校の家庭科教員を対象に、出前授業を通じて食農教育を行いました。管内の産地の現状や野菜などを紹介し知ってもらい、教育現場で地元の児童・生徒へ伝えてもらうことが目的です。

教員13人が参加。授業では、地域で多く栽培されているキュウリとハウス新シヨウガの特徴を紹介した他、生産者が勧めるレシピの調理実習と試食を行いました。また意見交換も行い、地域自慢の野菜やその食べ方などについて話し合いました。

参加した教員は「新シヨウガの特徴や調理の仕方を初めて知った」「農業者を取り巻く厳しい現状を子ども達にも伝えたい」と話しました。同センターの吉本次長は「地域の農業や農産物を広く知ってもらおう良い機会となった。今後もこのような取り組みを継続していきたい」と話しました。

3 とさのさと 農業体験イベントで 県産野菜料理 & 稲刈り体験



刈った稲を束ねる参加者

J A ファーマーズマーケット「とさのさと」は8月3日、高知市内で第3回の農業体験イベントを開きました。食の生産から消費するまでの体験を通して、高知県の食・地域・自然や食文化を学んでもらい、県産の農産物やとさのさとファンづくりを目的としています。

参加者は県産の新シヨウガや米ナスを使い、「新シヨウガの炊き込みご飯」「新シヨウガサラダ」「米ナスのピザ」の3品を調理。そして、第1回に植えた稲の収穫も行いました。参加者は「暑い中での収穫作業は大変。生産者に感謝したい」「たくさん刈ることができて楽しかった」と話しました。

4 JAグループ高知 県農協指定市町村・農協協議会 地域活性化を推進



あいさつする東山理事長

県農協指定市町村・農協協議会は8月21日、高知市で総会を開きました。同協議会は、J A とJ A 高知信連を指定金融機関にしている市町村との相互連携を密にし、市町村の出納業務の適正運営と公金取り扱い業務を改善し、地方創生にかかる取り組みを推進していくことが目的です。

信連の東山英仁理事長は「本協議会は今年度で50周年を迎える。時代や環境が変化の中で行政等と連携し、活性化した地域の実現を目指します。地域と農業の発展に向け、ともに協力していきたい」とあいさつしました。

5 高知地区 春野支所 年金相談会開く



J A 職員から説明を受ける参加者(写真⑥)

春野支所は8月24日、年金相談会を開き、9組の参加者が、社会保険労務士に年金制度や受給の手続きなどについての質問や相談をしました。相談前に現在の状況や相談したい内容を「J A 年金相談うけたまわり票」に記入してもらったことで、相談時のスムーズな対応・状況把握につなげました。

参加者は「国民年金と厚生年金の違いを詳しく知ることができて良かった」「手続きの時期や方法について、受給前に相談できた」と話しました。

6 本部 ピザ作りと土佐あかうし見学 親子あぐりスクール



土佐あかうしにエサやりをする参加者

J A 高知県は8月24日、第5期あぐりスクールの3回目を開きました。12組26人の親子が参加し、ピザ作りと土佐あかうしの見学をしました。

本山町の「汗見川ふれあいの里清流館」で、町産のイタドリやタケノコ、ユズ風味の味噌だれなどを使ったピザを料理。また、土佐町の「株いほく未来が運営する牛舎を見学し、エサやりを体験したり、牛の顔を触ったりしてふれあいました。

参加者は「上手にピザが焼けてよかった」「近くで牛を見ると迫力があつた」と話しました。

高知農業改良普及所より

農薬の適正な使用に向けて

農薬は作物に被害を与える病害虫を防除する上で有効な手段の一つです。一方で、正しく使用しなければ作業者の人体や周辺環境へ悪影響を及ぼすことがあります。

そのため、高知県では、例年危害の未然防止に向けた啓発活動「農薬危害防止運動」を実施しています。今回は農薬のラベルについてご紹介します。

1 農薬のラベルは必ず確認!

農薬は、人の健康に影響を及ぼさない量をもとに残留基準値が定められ、この残留基準値を超えることのないよう、農薬ラベルの記載内容が決められています。そのため、農薬を使用する際には、農薬ラベルの記載内容を必ず守らなければなりません。なお、違反した場合には、罰則が科せられることになっています。

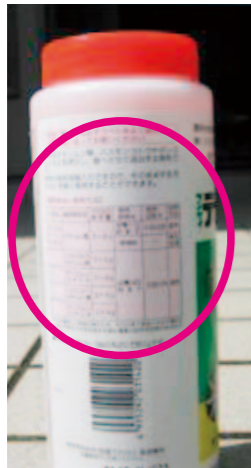


写真1 農薬のラベル

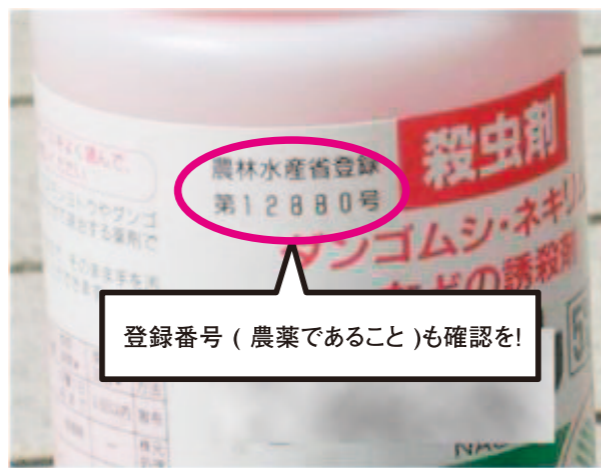


写真2 農薬の登録番号

登録番号(農薬であること)も確認!

2 必ず守るべき4つの項目

農薬ラベルで適用作物、希釈倍数(または使用量)、使用時期、使用回数を確認しましょう。

- (1) **適用作物**
ラベルに記載されている作物にのみ使用する
- (2) **希釈倍数または使用量**
ラベルに記載されている希釈倍数または使用量を守る
- (3) **使用時期**
ラベルに記載されている使用時期(収穫前日数など)を守る
- (4) **使用回数**
ラベルに記載されている総使用回数以内で使用する

異なる農薬名でも有効成分が同じ場合があるので注意しましょう!



記載例 スミレックス水和剤の場合

作物名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	プロシモンを含む農薬の総使用回数
きゅうり	1,000倍	収穫前日まで	6回以内	6回以内

農薬の使用にあたってはこれらの項目を守るとともに、良識と細心の注意をもって取り扱ってください。疑問がありましたら、お近くの普及所やJAまでお気軽にお尋ねください。

問い合わせ先: 中央西農業振興センター高知農業改良普及所
(TEL.088-861-0711) (FAX.088-861-0660)



春野営農経済センターからのお知らせ

高知地区 JA高知県春野営農経済センター
電話:088-894-5660 (営農指導課)

農作業スタッフを探しています!!

春野無料職業紹介所では、「農作業したい(働いてみたい)」方と、「農作業の働き手が欲しい」農家(組合員)への、紹介、マッチング、斡旋を行っています。ご興味のある方は、下記の問い合わせ先までご連絡をお願いします。

※ご紹介には無料職業紹介所への登録が必要となります。

地域住民(求職者)と農家(求人者)をJAが無料で紹介・斡旋

農作業スタッフ募集! アルバイト

現在、春野町の多くの園芸施設(ハウス)農家が高齢化や後継者不足により働き手を必要としています。現在収穫期を迎えており人手不足となっています。当無料職業紹介所では、農作業ヘルパー・アルバイトの募集を行っており、求人登録されている農家の方々へ紹介しています。農業に興味のある方、空いた時間を有効活用してみたい方、青空の下で働いてみたい方など、お気軽にお問い合わせお待ちしております。

【問い合わせ先/担当:宇賀・宮崎】
JA高知県 春野無料職業紹介所
高知市春野町西分512-2
JA高知県 春野営農経済センター TEL088-894-5660

この他にも時期によりさまざまな農作業をご紹介させていただきます

〈例〉キュウリの場合

- 場所: 高知市春野町
- 期間: 10月~6月
- 作業: 植え付け(定植)、葉のかきとり(摘葉)、収穫作業など
- 時給: 最低賃金以上(高知県)
- 時間: 相談可(8:30~17:00など)
- 休日: 週1日~応相談
- 動画: 作業の様子

← 戻る →
検索 →

JA高知県求人サイトはこちら!



詳しい求人情報が知りたい方は、JA高知県農業求人サイト「あくりマッチこうち」へ!!

E-mail haruno-msyoukai@ja-kochi.or.jp

受付 月~金曜日(祝日除く) 午前9時~午後5時

労務管理(雇用時の注意点)について

農業には、農業機械や農薬を利用するなど、危険を伴う作業があります。労働者を雇い入れた場合や作業内容を変更した場合、使用者はその業務に関する安全または衛生のための教育を行わなければなりません。

教育すべき内容は以下のとおりです。

- 機械・原材料等の危険性・有害性及び取扱方法
- 安全装置・有害物抑制装置または保護具の性能及び取扱方法
- 作業手順
- 作業開始時の点検
- 業務に関連して発生するおそれのある疾病の原因及び予防
- 整理・整頓及び清潔の保持
- 事故時等における応急措置
- その他、業務に関する安全又は衛生のために必要な事項



出典: 農林水産省、厚生労働省「農業者・農業法人 労務管理のポイント」

<<https://www.maff.go.jp/j/pr/annual/attach/pdf/nougyou-9.pdf>>

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

知り合いの農家さんがステキな笑顔で「輝け！新農人」で出ていました。さっそく電話しました。

(春野町弘岡中 69歳)

▼8月号では、親元で就農した就農2年目の新シヨウガ農家さんを紹介しました。父親から栽培を教わりつつ、他の農家からも農業に対する考え方や土づくりなどの技術を学ぼうとする意欲がインタビュアを通して伝わってきました。

「高知地区からこんにちは」元氣な農家さんに、こちらもうれしくなります。

(春野町弘岡中 71歳)

▼高知地区からこんにちはでは、女性部や農家、自動車会社の代表取締役の方を紹介しました。このコーナーに感想が届くのを毎月楽しみにしています。これからも、頑張る皆さんを紹介していきます！

高知県産米が色々あることを知ることができました。食べ比べてみます。

(春野町南ヶ丘 68歳)

「おいしく炊くコツ」すごく参考になりました。水分を浸透させることは、気にせずすぐ炊くこともあったので、反省しています。

(高知市朝倉成 61歳)

▼特集2では、高知県産の新米をより楽しむための、おいしくお米を炊くコツや、新米の品種とそれに合うご飯のお供を紹介しました。私も、これほどじっくり水分を浸透させることは初めて知りました。県産米とのカップリングも、全部試して食べ比べてみたいです！

20ページの宿根かすみ草がすばらしくきれいです。

(高知市神田 18歳)

お花の紹介は、時に毎号を並べてみて、読み返す楽しさもあります。

(春野町西分 81歳)

▼「Living with Flower 生産者を訪ねて」では、幡多地区の「宿根かすみ草」を紹介しました。一輪輪が愛らしく、ふんわりとした印象でどんな花にもそつと調和しているようで、アレンジメントもとてもきれいですね。

うちんくの台所のレシピ、さっそく作って食べました。おいしかった！

(高知市北新田町 61歳)

▼8月号のうちんくの台所では、れいほく地区本山支部の女性部さんが2品紹介してくれました。どちらも土佐あかうしを使ったボリューム満点のレシピで、とてもおいしそうです！

色々な情報が載っているので、隅々まで読んでいます。とても勉強になります。

(春野町仁ノ 48歳)

▼嬉しいご意見ありがとうございます。これからも皆さんに楽しんでもらえる広報誌作りを心掛けていくので、応援よろしくお願いします！

【連絡先一覧表】

高知地区（春野町）

企画組合員課 894-3033

はるちゃんのアイス屋 894-2760

春野支所

信用課 894-2203

共済課 894-3304

共済普及課 894-3309

他組織・子会社等

高知中央サービスセンター（事故処理） 821-6015

(株)JAエナジーこうち 春野給油所 828-6212

ルミエールはるの (フリーダイヤル24時間) 0800-200-5911

春野農機センター 894-5290

春野営農経済センター

購買課 828-6111

Aコープはるの直販所「春の里」 894-2225

重油係 828-6115

ビニール加工場 894-4264

経済渉外課 828-6111

JAグリーンはるの店 828-6161

販売課 894-2222

営農指導課 894-5660